

少しでも早く、学校生活に慣れるよう

共生教室「エスペランサ」開級

美濃加茂市教育委員会

この共生教室は、美濃加茂市教育委員会が開級しています。

来日直後で、日本の生活習慣や文化などがまったくわからない外国人児童生徒（主にブラジル人）を対象に指導しています。

対象年齢は、7歳から12歳までの小学校就学対象児童です。

児童の理解度に応じて、1週間から半年までの期間勉強します。

主に、「学校での生活のきまり」、「日本の生活様式や文化」、「学校生活上必要となる最小限の日本語」、「ひらがな、カタカナ表記、読み」、「簡単な計算」など、日本の基本的生活習慣や学習を指導して、少しでも早く学校生活になじめるように開設しました。

また、その保護者に対しても、「日本（市）の、小・中学校の概要、流れ（義務教育期間）高等学校進学」、「日本の生活様式や文化、地域での暮らし方」などを説明して、教育相談にも応じています。

注 「エスペランサ」とは、ポルトガル語で「希望」を意味します。



現在、この教室は古井小学校に開級していて、小学校1年生と2年生3人の児童がカタコトの日本語で学習しています。

4月に開級して以来、のべ9人の児童がここで日本の学校生活を学びました。

楽しい学校生活がおくれるよう

「アミーゴ教室」を開級

古井小学校

古井小学校には、9月現在、全校児童（672人）のうち約1割近い57人の外国人児童が在籍しています。

「エスペランサ」教室とは別に、古井小学校には、「アミーゴ教室」が開級されています。この教室は、古井小学校区の児童を対象としています。

エスペランサ教室が、日本の基本的生活習慣などを指導しているのに対して、アミーゴ教室では、来日して間もない児童に、初級の指導として主に日常生活に必要な日本語を、その後は中・上級の指導として一人ひとりに応じた学習に必要な日本語を教えています。

一方、在住外国人児童が、自国の言葉を通じて、互いを理解しようと、日本の子どもたちにポルトガル語を中心とした外国語を教えている「アミーゴタイム」があります。

このアミーゴタイムは、毎週金



曜日の朝行われており、学校内をいろんな国の言葉が、飛び交っています。